

4. 地域連携事業の推進

特別展や公開講座などを自治体その他と共催し、研究成果を地域の市民に公開しています。



小城市との共催特別展(毎秋開催、写真は2011年)



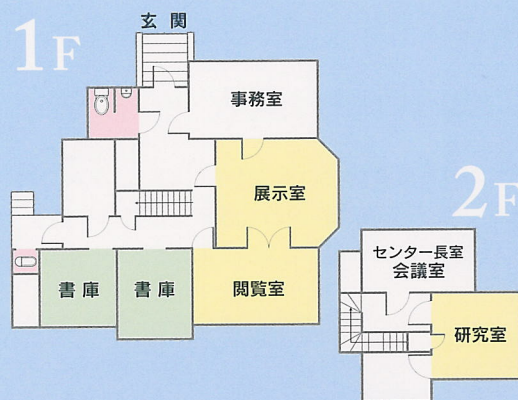
佐賀県立図書館との共催古文書講座(2011年)

地域学歴史文化研究センタースタッフ

青木 歳幸(専任教授、センター長、洋学・思想史研究部門長)
 伊藤 昭弘(専任准教授、副センター長、地域史・史学研究部門長)
 重藤 輝行(併任准教授、考古学研究部門長)
 白石 良夫(併任教授、国文・文献学研究部門長)
 山本 長次(併任准教授、地域史・史学研究部門)
 鬼嶋 淳(併任准教授、地域史・史学研究部門)
 野口 朋隆(非常勤博士研究員)
 大塚 俊司(教務補佐員)
 古賀 亜紀(事務補佐員)

2012年4月現在

施設案内



- 展示室では、佐賀大学所蔵資料を中心に期間展示を行います。
- 閲覧室では、学術書・郷土資料図書を閲覧できます。(10時～5時まで)

本庄キャンパスへの交通案内



バス	佐賀駅バスセンターから	約20分
タクシー	佐賀駅から	約15分
タクシー	佐賀空港から	約20分

佐賀大学地域学歴史文化研究センター

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地

TEL/FAX 0952-28-8378

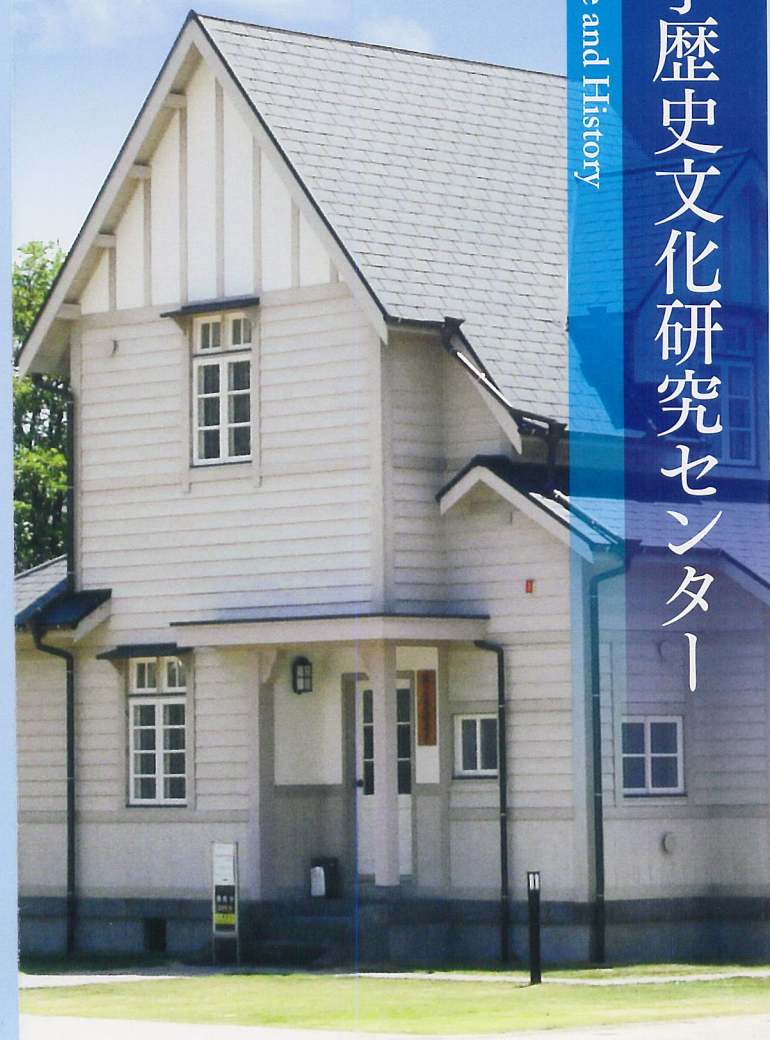
E-mail: chirebun@ml.cc.saga-u.ac.jp

URL: <http://www.chiikigaku.saga-u.ac.jp>



The Center for Regional Culture and History

佐賀大学地域学歴史文化研究センター



グローバル化が進む21世紀、我々は自らが生きる地域の歴史・文化・風土を見つめ直し、未来への展望を開かなければなりません。

佐賀大学地域学歴史文化研究センターは、考古学、国文・文献学、地域史・史料学、洋学・思想史の4研究部門による基礎研究をもとに、地域（佐賀）の固有性と普遍性を探究し、新たな学問体系としての「地域学」を創造します。

研究部門

考古学研究部門

古代における大陸との交流の重要な拠点でもあった肥前の地において、どのような文化交流がなされ、この地に受容、定着していったのか、考古学の視点から解明していきます。

国文・文献学研究部門

近世佐賀においては武家や禅僧が支えた風雅の道や、庶民が作った文化が栄えていました。本部門では、主に文学・文芸の面から佐賀地域の独自性を明らかにします。

地域史・史料学研究部門

佐賀は古代中世以降、歴史性豊かな地域で、幕末・明治期には日本の近代化に大きな役割を果たしました。本部門は、こうした佐賀地域の歴史研究と、史資料の調査・整理、学外への研究成果公開を主な目的としています。

洋学・思想史研究部門

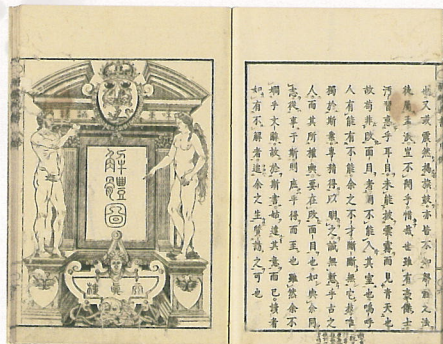
西洋近代文明の受容の起点である佐賀において、洋学がどのように佐賀の歴史文化に関わったのか、佐賀地域の国際交流がどう展開したのか、佐賀大学所蔵の「小城鍋島文庫」をはじめとした洋学資料の研究により解明します。



センターの主な事業

1. 地域資料の調査・収集

各部門における基礎研究に活用するとともに、地域資料を後世に遺すため、佐賀地域に関わる歴史文化資料を調査・収集します。また収集した資料・文献は、原則として一般に公開します。



センター所蔵
「解体新書」



資料調査（鹿島市福源寺）



センター閲覧室

◀センターの研究拠点・菊楠シュライパー館開館式（2006年10月）

2. 佐賀地域の歴史文化研究

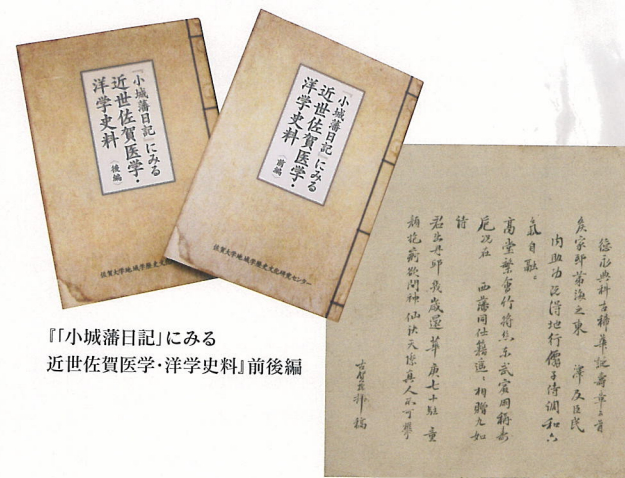
各部門ごとに佐賀地域の歴史文化に関する研究をすすめ、その成果を「研究紀要」にて毎年発表します。また、地域の歴史文化研究に関するシンポジウムを開催し、内外の研究者や市民と意見交換します。



地域学シンポジウム（2011年）

3. 目録・資料集の刊行

佐賀地域の歴史文化研究をすすめるために、センターで調査した資料の目録や、佐賀大学附属図書館所蔵『小城鍋島文庫』及びセンター所蔵の歴史資料を翻刻した資料集を刊行します。



『小城藩日記』にみる
近世佐賀医学・洋学史料 前後編

古賀精里「徳永典科古稀華誕寿章之首」
（中尾友香梨「歴史に埋もれた名医－徳永雨郷書簡集－」所収）